komplez / 好 / 「好」には「好感・好意」「親切」などのニュアンスが含まれ、簡体字でも頻出 / 日本人にも馴染みがあり学習コストが低い

1. honest / 诚 / 「诚」(诚实：正直・誠実)の意を核として選択 / 一字でまとまりが良く、今後も再利用しやすい
2. sincer / 诚 / 誠実・真心を表す「诚」を再利用 / 同一漢字の使い回しで学習コストを抑えられる
3. pi / 虔 / 「虔诚」(敬虔・信心深い)から中核の「虔」を抽出 / やや画数多めだが他の候補より適切
4. fidel / 忠 / 「忠实」「忠贞」など「忠」で忠実さを表現 / lojal(忠義)とも重なる意味のため今後再利用可能
5. lojal / 忠 / fidelと同義域のため同じ「忠」を適用 / 学習コスト削減にも寄与
6. intim / 亲 / 「亲密」(親密)より「亲」を採用 / 画数が少なく、日本人にも認知度が高い
7. familiar / 熟 / 「熟悉」(よく知っている)の「熟」を抽出 / 画数はやや多いが日常でも比較的使われる字
8. afabl / 和 / 「和蔼」(穏やか・愛想がよい)から「和」を選定 / 頻出字で学習コストが低い
9. tener / 柔 / 「温柔」(やさしい・柔和)から「柔」を採用 / 意味が直接的で分かりやすい
10. arĥaism / 古 / 「古语」(古い言葉)を表すため「古」を抽出 / 多くの「古風系」語根で使い回し予定
11. arkaism / 古 / arĥaismと同義のため「古」を再利用 / 同じ字を使い回すことで学習コスト低減
12. antikv / 古 / 「古代」の意味合いから同じく「古」を割当 / 同上
13. klasik / 典 / 「古典」の要素から「典」を採用 / 「古」と区別化を図りつつ、中国語でも認知度高い
14. arkaik / 古 / 「古風」ゆえに「古」で統一 / 既出の「古」を再利用し学習コストを抑える
15. arĥaik / 古 / 同義のため「古」再利用 / 繰り返し利用で覚えやすい
16. matur / 熟 / 「成熟」(成熟した)から「熟」を選定 / familiar(熟)と同字で再利用し学習量を低減
17. plen/aĝ## / 成年 / 「成年」(大人)として2文字熟語で提案 / 単字だと誤解の恐れがあるため熟語を優先
18. alt / 高 / 「高い」の意味そのままに「高」を採用 / 画数も少なく汎用的
19. long / 长 / 「长」(長い)をそのまま適用 / 日本語の「長」と形が近く、覚えやすい
20. lac / 累 / 中国語で「我很累」=「疲れた」を表す常用字 / 日常的にも使われ、意味がつかみやすい
21. enu / 闷 / 「闷」=退屈・つまらないを示す頻出字 / 画数少なく習得しやすい
22. sek / 干 / 「干」には「乾く・乾燥する」の意味がある / 最も簡潔で高頻度の字
23. humid / 湿 / 「潮湿」(湿気がある)の「湿」をそのまま利用 / 日本語の「湿」と形が近く理解しやすい
24. acid / 酸 / 「酸っぱい」を示す代表的な字 / 日中共通で認識しやすい

ranc / 腐 / 「腐る」「腐敗」のイメージが日中共通でわかりやすい / 画数はやや多めだが、意味連想のしやすさを優先して選定

1. fort / 强 / 「強い」の簡体字で、中国語・日本語ともにイメージがつかみやすい / 汎用性が高く後続でも再利用予定
2. intens / 强烈 / 「強烈」の常用2文字熟語で、“強”を再利用しつつ「烈」を足して「強さ・激しさ」を明確化 / 一部画数増はあるが意味がはっきりする
3. firm / 坚 / 「堅固な」「しっかりした」を表す簡体字(日本語の「堅」) / 単独で「堅い・しっかりした」ニュアンスを伝えやすい
4. fortik / 坚强 / 「堅強」「頑丈」で“坚”と“强”を組み合わせ、より「頑丈・強健」な感じを出す / 既存の“坚”と“强”を再利用
5. rigid / 刚 / 「剛」の簡体字で、「硬い」「剛直」の意味をコンパクトに示せる / 画数が少なめで「强」「坚」との使い分けもしやすい
6. obstin / 顽固 / 「頑固」をそのまま2文字熟語化して意味が明確 / “顽”と“固”はいずれも「しつこい・固い」イメージがあり覚えやすい
7. pez / 重 / 「重い」を最も直接的に表す / 画数9で比較的シンプル、今後「重」に関連する熟語も作りやすい
8. masiv / 重 / 「どっしり重い」の意味だが、同じ“重”を使い回す / 振り仮名や上付きなどで区別予定
9. dik / 厚 / 「太い・厚い」に対応しやすい漢字 / 日本語の「厚い」イメージと中国語での用法が比較的近い
10. dens / 浓 / 「濃い・密度が高い」(日本語の「濃」の簡体字) / 「味や色が濃い」「密度が高い」など、日中ともイメージしやすい
11. elast / 弹性 / 「弾性(弾力)」を意味する2文字熟語 / “弹”(=日本の「弾」)と“性”は比較的汎用度も高い
12. mol / 软 / 「柔らかい」を表す簡体字(日本語の「軟」の簡体形) / 非常に一般的な単語で、画数も少なめ
13. dolĉ / 甘 / 日本語でも「甘い」、中国語でも「甘～」という用法があり、画数が少なく直感的 / 厳密には中国語で「甜」の方が一般的だが、学習コスト削減を重視
14. mild / 柔 / 「やわらか・おだやか・柔和」のイメージが両言語でつかみやすい / 「軟」や「温和」等との使い分け
15. glat / 滑 / 「なめらか・すべる」の意で最適 / 中国語で「滑(滑らか)」、日本語でも「滑る」の字として認識しやすい
16. delikat / 细 / 「細かい・繊細な」の意味合い(日本語「細」の簡体字) / 今後「細微」などの熟語にも転用しやすい
17. subtil / 微 / 「微細な・ごく小さい」の意味を端的に示す / 画数はやや多いが、日中で“微”の概念は共有されやすい
18. ombr / 影 / 「影(かげ)」を直接表す字 / 画数多めだが「陰影」「投影」など連想しやすく分かりやすい
19. nuanc / 细微 / 「細微」「ニュアンス(細かな違い)」を表す熟語 / すでに登場した“细”と“微”を再利用し学習コストを抑制
20. fulm / 闪电 / 「稲妻」(=“閃電”)のごく一般的な中国語表現 / “闪”(閃)と“电”(電)はいずれも画数が比較的少なく、初学者にも覚えやすい
21. polur / 光 / 「光沢・磨き上げる(輝かす)」のイメージから“光”を割り当て / 厳密には「磨」等もあるが、できるだけ文字種を削減
22. hel / 光 / 「明るい」を「光」でまとめて表現 / “明”や“亮”も候補だが、極力同じ漢字で統一し学習負担を低減
23. lum / 光 / 「光っている、光」の最たる代表文字 / 同じ“光”を再利用
24. bril / 光 / 「輝く」「閃く」ニュアンスだが、やはり“光”を転用し学習コストを削減 / 実際には“亮”や“耀”なども候補

diafan / 半透 / 「半透明」を簡略化し、画数を抑えつつ「半分透ける」ニュアンスを出せる / 「半」(5画)と「透」(10画)の2文字構成。両方とも比較的頻出のため学習コストは許容範囲と判断

1. konciz / 简洁 / 「簡潔」の意味を正確に伝える標準的な簡体字表現 / 「简」(7画)と「洁」(9画)はいずれもよく使う字で、日本語話者にも「簡潔」として比較的連想しやすい
2. facil / 易 / 「容易」の意を伝えるもっとも単純な1文字 / 画数(8画)も少なく、「易」ひとつで「易しい」を連想できるため日本語話者にも分かりやすい
3. simpl / 简 / 「簡単」の意を端的に示す1文字 / すでに2番で登場した「简洁」の「简」を再利用。学習コスト軽減のため重複使用を推奨
4. klar## / 未対応 / 末尾「##」付きのため語根ではなく、人名クララ等を想起。割当不要と判断 / ―
5. evident / 明显 / 「明らか」「明白」「顕著」の意味を広くカバーする常用表現 / 「明」(8画)は7番(klar)でも再利用予定。「显」(9画)は簡体字として「顯」の簡略形
6. klar / 明 / 「明瞭」「はっきりした」意味を1文字で伝えられる / 「明」は使用頻度が高く、先に挙げた「明显」と合わせて学習コストを抑えやすい
7. ebon / 乌木 / 中国語で「黒檀」を意味する一般的な表現の一つ / 「乌」(4画)は「黒」を示す際にも使われる。画数が少なく、「木」(4画)も基本字
8. nigr / 黑 / 「黒色」の代表的な1文字 / 12画だが「黒」を示す字として定着度が高い
9. negr / 黑人 / 「黒人」を表す標準的な2文字組 / 「黑」再利用 +「人」(2画)の組合せ。学習コストが低い
10. blank / 白 / 「白色」の代表的な1文字 / 5画で極めて基本的。日本語・中国語の両方で「白色」を連想しやすい
11. albin / 白化 / 「白化(症)」「アルビノ」を示すのに比較的画数が少ない組合せ / 「白」既出(5画) +「化」(4画)。より正式には「白化病」だが画数が増えるため2文字で提案
12. pal / 苍白 / 「青白い」「顔色が悪い」という意味で中国語でもよく用いられる表現 / 「苍」(6画) +「白」(5画)。どちらも基本的かつ頻出
13. blond / 金黄 / 「金髪」「金色がかった黄色」のニュアンスを2文字で簡潔に / 「金」(8画) +「黄」(11画)。ともに色を表す基本字
14. blu / 蓝 / 「青」「ブルー」を示す簡体字1文字 / 13画だが「蓝色」はよく用いられる語。日本人にも「藍(蓝)」の連想がしやすい
15. flav / 黄 / 「黄色」の代表的な1文字 / 11画であるが、色を示す基本字として必須度が高い
16. brun / 棕 / 「茶色」「褐色」を示す際の簡体字 / 「棕色」は一般的な表現。1文字「棕」(12画)で「ブラウン系」を連想可
17. griz / 灰 / 「灰色」の代表的1文字 / 6画と少なく、意味も分かりやすい
18. lazur / 天蓝 / 「空色」「スカイブルー」を示す2文字 / 「天」(4画) +「蓝」再利用(13画)。分かりやすく、他の色系字とも連動
19. purpur / 紫 / 「紫色」を代表する1文字 / 11画。「紫色」の基本字として日本語圏・中国語圏ともに認知度高い
20. skarlat / 猩红 / 「猩紅」「スカーレット」の標準的表現 / 「猩」(やや画数多めだが色名として定着) +「红」再利用(6画)
21. verd / 绿 / 「緑色」の代表的1文字 / 9画。「绿色」の常用語であり、中国語圏で最も基本的な緑の字
22. verdigr / 铜绿 / 「緑青」「銅の錆び」を表すのに一般的な用語 / 「铜」(11画) +「绿」再利用(9画)。正確に「verdigris」を示す
23. ruĝ / 红 / 「赤」「赤色」の代表的な1文字 / 6画と少なく、中国語では最も一般的な「赤色」の表現
24. punc / 火红 / 「炎のように赤い」「ひなげし色に近い真っ赤」を示す / 「火」(4画) +「红」再利用(6画)。鮮やかな赤を表現しやすい

novjork

* + 提案: 纽约
  + 理由: 「ニューヨーク」の標準的な簡体字表記。
  + 学習コスト: 「纽(7画)」「约(6画)」はいずれも比較的ポピュラーな漢字で、中国語でも頻出。

1. jork
   * 提案: 约克
   * 理由: 「ヨーク(York)」の標準的な簡体字表記。
   * 学習コスト: 「约」はすでに「纽约」で使った漢字と重複利用できる。「克」は新出だが日常使用頻度は比較的高い部類。
2. nikola
   * 提案: 尼古拉
   * 理由: 「ニコラウス(Nicholas)」の一般的な音訳。
   * 学習コスト: 「尼」「古」「拉」はすべて常用の範囲内。既出との重複は少ないが、音訳としては分かりやすい。
3. nikodem
   * 提案: 尼哥底母
   * 理由: 「ニコデモ(Nicodemus)」の慣用的な音訳形。
   * 学習コスト: 「尼」は上記(ニコラウス等)とも重複。「哥」「底」「母」は新出だが、聖書由来の名前として一定の認知度がある。
4. nikel
   * 提案: 镍
   * 理由: ニッケル(元素)を表す正式な簡体字。
   * 学習コスト: 14画とやや多めだが、化学元素としては標準的表記。他の候補(例えば「镍金」等)もあまり一般的でないので、単字「镍」を採用。
5. nanken
   * 提案: 南京布
   * 理由: 「ナンキンもめん(nankeen)」の由来である「南京」＋「布」が最も分かりやすい。
   * 学習コスト: 「南」「京」「布」はいずれも比較的基本的な漢字。単字化は困難なので熟語表現。
6. nikotin
   * 提案: 尼古丁
   * 理由: ニコチン(nicotine)の標準的な音訳。
   * 学習コスト: 「尼」「古」(既出)を流用。「丁」(4画)を新規追加するだけなので比較的負担は少ない。
7. elektr
   * 提案: 电
   * 理由: 「電気(electricity)」を表す最も基本的な簡体字。
   * 学習コスト: 5画で頻出。以後「電話」「电路」など多数の派生に再利用可能。
8. elektronik
   * 提案: 电子学
   * 理由: 「電子工学(electronics)」を指す代表的な表現。「电子」だけでも意味は伝わるが、学問分野を明確にするため「学」を加えた。
   * 学習コスト: 「电」は既出、「子」「学」は常用字であり、電子関連語への転用もしやすい。
9. ret

* 提案: 网
* 理由: 「網、ネット」を指す簡単・常用の単字。
* 学習コスト: 6画で、中国語でも「网络」「上网」など広く用いられる基本字。

1. cirkvit

* 提案: 电路
* 理由: 「回路(circuit)」の一般的表現。
* 学習コスト: 「电」(既出)＋「路」(新出)。どちらも日常語として頻度は高い。

1. orel

* 提案: 耳
* 理由: 「耳朵」の簡単形で、身体部位としては単字「耳」で十分に通じる。
* 学習コスト: 6画と少なく、基本部首としての利用もある。

1. aŭd

* 提案: 听
* 理由: 「聞く(to hear)」の最も一般的な動詞。「听见」にも対応可能だが、単字で簡潔に。
* 学習コスト: 7画。「aŭskult(聴く)」も同じ「听」で兼用し、区別は振り仮名や上付き文字で対応予定。

1. aŭskult

* 提案: 听
* 理由: 「(注意して)聴く・傾聴する」を表す場合も、現代中国語では「听」でほぼカバー可能。
* 学習コスト: 「aŭd」と同じ字を再利用し、学習負担を軽減。

1. mikrofon

* 提案: 麦克风
* 理由: 「マイクロフォン」の一般的な音訳。別案「话筒」もあるが、こちらが馴染み深い。
* 学習コスト: 「麦」「克」「风」は日常でも見かける漢字。すべて比較的基本的。

1. telefon

* 提案: 电话
* 理由: 「電話(telephone)」の標準的表現。
* 学習コスト: 「电」(既出)＋「话」(新出8画)。「话」も会話など日常用語に頻出。

1. telegraf

* 提案: 电报
* 理由: 「電信機(telegraph)」＝「电报（机）」が一般的なので「电报」が簡潔。
* 学習コスト: 「电」既出、「报」(7画)は新出だが「报纸(新聞)」などでも使われる常用字。

1. faktor

* 提案: 因素
* 理由: 「要因・要素(factor)」を表す代表的な簡体字語。「因子」は数学的要素寄り。
* 学習コスト: 「因」(6画)＋「素」(10画)。いずれも頻度の高い常用字。

1. kaŭz

* 提案: 原因
* 理由: 「原因(cause)」を表す一般的な語。
* 学習コスト: 「原」(10画)は新出だが、「因」は上記(faktor等)と重複利用可。

1. motiv

* 提案: 动机
* 理由: 「動機(motive)」の標準的な簡体字表現。
* 学習コスト: 「动」(6画)と「机」(6画)はいずれも頻繁に登場。「电话机」などにも通じる。

1. kial

* 提案: 为什么
* 理由: 「なぜ、どうして(why)」の最も一般的な疑問表現。
* 学習コスト: 「为」(4画)や「什」「么」は中国語の疑問詞で頻用。

1. kial##

* 提案: 为什么
* 理由: 「kial」と同意のため、同じ表記に統一。(#付きは特殊ルート扱いだが、意義重複につき同様で可)
* 学習コスト: 上記と同一なので追加負担なし。

1. ial

* 提案: 某原因
* 理由: 「ある理由で(for some reason)」を端的に表すなら「某(ある)＋原因」。
* 学習コスト: 「某」(9画)以外は「原」「因」が既出なので重複活用可。

1. ĉial

* 提案: 各种原因
* 理由: 「あらゆる理由で(for every reason)」。もっとも簡潔に「各种(様々な)＋原因」。
* 学習コスト: 「各」(6画)「种」(9画)はやや新出だが、日常でも「各种」「种类」など多用。

1. ĉar

* 提案: 因为
* 理由: 「because」を表す中国語の代表表現。「由于」も近いが、「因为」の方が直接的。
* 学習コスト: 「因」(既出)＋「为」(既出)。追加学習なし。なお馬車・荷車の意味(ĉaro)は別途振り仮名等で区別見込み。

ĉar## / 因为 / 「because」に相当する常用表現 / 「因」「为」は他の語根(例: pro/由于, por/为了)でも再利用可能な常用漢字

* tial / 因此 / 「それゆえ」「だから」に相当する常用表現 / 「因」を再利用(ĉar##でも使用)。追加の「此」も汎用性は比較的高い
* pro / 由于 / 「～のために(原因)」「～が理由で」の意。現代中国語で「due to」に近い / 新出の「由」「于」はいずれも頻出で汎用性がある
* por / 为了 / 「～のために(目的)」「in order to」に相当 / 「为」は既出(ĉar##/因为など)で再利用、「了」も2画で頻出文字
* prez / 价格 / 「価格」「price」に相当 / 「价」「格」はともに高頻度漢字で他の単語にも転用しやすい
* statur / 身高 / 人の「身長」に相当 / 「身」「高」は日本語・中国語ともイメージしやすく汎用度も高い
* diametr / 直径 / 「直径」に相当 / 「直」「径」は数学用語として他でも使われる可能性がある
* latitud / 纬度 / 「緯度」に相当 / 「纬」「度」は地理用語。「度」は他(経度など)でも再利用
* longitud / 经度 / 「経度」に相当 / 「经」「度」は地理用語。「度」はlatitudと共通
* milion / 百万 / 「百万」「million」に相当 / 「百」「万」は日常的にも非常に頻出
* miliard / 十亿 / 「十億」「billion(10^9)」に相当 / 「十」「亿」もよく使われる数詞
* mil / 千 / 「千」「thousand」に相当 / 単独1文字で直感的。後の「千米」などでも再利用
* cent / 百 / 「百」「hundred」に相当 / 同様に単独1文字で直感的
* nul / 零 / 「ゼロ」「zero」に相当 / 日本語・中国語とも「零」は認知度が高い
* nul## / 零 / 同上(語根ではない記号付きだが、割当するなら同じ「零」で問題なし)
* miriad / 无数 / 「無数」「countless」に相当 / 「无」「数」はともに高頻度で、すでに「数」は他で再利用
* cifer / 数字 / 「数字」「digit」「figure」に相当 / 「数」「字」は学習コストが比較的低く、他語にも応用可能
* nombr / 数 / 「数」「number」「量(概念)」に相当 / すでに「数」は使用済みで重複利用が容易
* numer / 号 / 「番号」「issue number」に相当 / 「号」は日付・サイズなどにも使われる高頻度文字
* centimetr / 厘米 / 「センチメートル」に相当 / 「厘」「米」は長さ単位関連で「米」を再利用
* col / 英寸 / 「インチ」に相当 / 標準的用法。「英」はマイル(英里)でも再利用
* kilometr / 千米 / 「キロメートル」に相当 / 「千」「米」は既出(12. mil, 24. metr)を再利用。学習コスト低
* mejl / 英里 / 「マイル」に相当 / 「英」はcol/英寸と共通。「里」は新出だが比較的基本的な字
* metr / 米 / 「メートル」に相当 / 「米」は「centimetr」「kilometr」などでも用いられ、最重要単位文字
* milimetr / 毫米 / 「ミリメートル」に相当 / 「毫」「米」。やや画数はあるが単位表記としては標準的で分かりやすい

centim

* + 提案: 分
  + 理由: 中国語で「分」は貨幣単位(1元=100分)としても使われるため、サンチーム(100分の1通貨)のイメージに近い。
  + 学習コスト: すでに他の「通貨の1/100」「時間の1/60(分)」などで流用可能な汎用性の高い字。

1. cend
   * 提案: 分
   * 理由: 上記と同様、セント(1ドル=100セント)のイメージに「分」を転用。
   * 学習コスト: 「centim」と同じ字を使うことで重複を減らし、学習負担を軽減。
2. minut
   * 提案: 分
   * 理由: 時間の「分」を指す場合、中国語でも単独で「分」と言える(より自然な表現は「分钟」だが、画数削減のため単漢字を提案)。
   * 学習コスト: 「分」はすでに通貨単位としても登場しており、同一字の再利用で学習範囲を抑えられる。
3. sekund
   * 提案: 秒
   * 理由: 時間の「秒」は日本語・中国語とも「秒」が最も直感的。
   * 学習コスト: 画数は少し多めだが、時間表現で広く使われる基本字。
4. pasport
   * 提案: 护照
   * 理由: 中国語の正式な「パスポート」の表記。日本語話者も「護照(旧字体)」で直感的に推測しやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが、中国語・日本語ともに意味を把握しやすい常用漢字。
5. viz
   * 提案: 签证
   * 理由: 「ビザ」は中国語で一般に「签证」と表す。単独の「签」や「证」より通じやすい。
   * 学習コスト: 2文字追加となるが、どちらも中国語では日常的に見かける字。
6. diplomat
   * 提案: 外交官
   * 理由: 「外交官」が最も直接的かつ日中で通じやすい表現。
   * 学習コスト: 3文字だが、「外交(=対外的なやりとり)＋官(役人)」の組合せは分かりやすい。
7. diplomati
   * 提案: 外交
   * 理由: 「外交(=diplomacy)」をそのまま転用。
   * 学習コスト: 「外交官」から「官」を除いただけで、既出字「外」「交」の組合せ。
8. ambasad
   * 提案: 使馆
   * 理由: 大使館を意味する「大使馆」から「大」を省き、「使馆(使節の館)」と簡略化。実際の用例でも通じる。
   * 学習コスト: 新出は「使」「馆」(「使」は次項でも再利用予定)。
9. ambasador

* 提案: 大使
* 理由: 大使に相当する最も標準的な中国語表現。「大」+「使」でアンバサダーを直感的に示す。
* 学習コスト: 「使」は上記で既出。「大」は汎用頻度が高く学習しやすい。

1. perspektiv

* 提案: 前景
* 理由: 「見通し、展望」のニュアンスを簡潔に示す。「前」+「景」で「先の景色→将来の展望」。
* 学習コスト: 「景」は今後の「風景」「全景」でも登場予定。「前」は日常的に高頻度。

1. pejzaĝ

* 提案: 风景
* 理由: 「風景」の簡体字表記。「景」は視界の意。日本語の「風景」とも通じ合い、意味を想起しやすい。
* 学習コスト: 「风」は新出だが画数が少なく、中国語でも非常によく使われる。

1. panoram

* 提案: 全景
* 理由: 「パノラマ=全景」として中国語でも一般的。「全」+「景」で「全体の景色」を表す。
* 学習コスト: 「景」は既出。「全」は画数が少なく、汎用度も高い。

1. vizit

* 提案: 访问
* 理由: 「訪問する」「訪れる」に相当する標準表現。
* 学習コスト: 「访」「问」はそれぞれ画数そこそこだが、中国語学習で早期に習う常用字。

1. turism

* 提案: 旅游
* 理由: 中国語で「観光」や「旅行」を広く含む語。「観光」(观光)という選択肢もあるが、「旅游」がより一般的に「ツーリズム」に対応。
* 学習コスト: 2文字追加だが、中国語としては頻出語で日常的。

1. turist

* 提案: 游客
* 理由: 「観光客」「旅行者」を意味する一般表現。「旅」ではなく、現代中国語では「游客」が定番。
* 学習コスト: 「游」は上記「旅游」と同字。「客」のみ新出だが、常用字。

1. guvern

* 提案: 养
* 理由: 「(子供を)養育する」「世話をする」の意に近い簡体字。「政府(government)」ではなく“家庭での養育”を強調。
* 学習コスト: 単字で画数も少なめ。日本語の「養」に相当し、直感的に保育・扶養を連想できる。

1. instru

* 提案: 教
* 理由: 「教える」という最も単純な漢字。「教学」「教える」などの基礎となる。
* 学習コスト: 常用字であり、次の「教育」などとも合わせて使い回しが効く。

1. eduk

* 提案: 教育
* 理由: 「教育」の標準訳。instru(教える)より広く「養成」も含む概念。
* 学習コスト: 「教」は既出、「育」も初出だが日本語で「教育」「体育」など頻出なので連想しやすい。

1. didaktik

* 提案: 教学
* 理由: 「教授法・教育法」などを総称するイメージに近い。「教学」は「教える・学ぶ」にかかわる方法論を暗示。
* 学習コスト: 「教」は既出、「学」は初出だが以降の教育関連でも多用可能。

1. pedagog

* 提案: 教师
* 理由: 「教師」「教育者」の意味を簡潔に表す。
* 学習コスト: 「教」は既出、「师」は日常的に「老師(老师)」などで使われるため覚えやすい。

1. pedagogi

* 提案: 教育学
* 理由: 「pedagogy」を直訳した標準用法。
* 学習コスト: 「教」「育」「学」すべて既出の組合せで新規負担なし。

1. seminari

* 提案: 研讨会
* 理由: 「セミナー(少人数での研究・討論会)」に相当する最も一般的な現代中国語表現。
* 学習コスト: 「研」「讨」「会」は新出だが、いずれも常用で今後再利用しやすい。

1. lecion

* 提案: 课
* 理由: 「授業・レッスン」を指す基本単語。「功课」「上课」など関連用例多数。
* 学習コスト: 単字で画数はやや多いが、「课程」など派生形にも流用可。

1. kurs

* 提案: 课
* 理由: 「講座・コース」を意味する語だが、同じ「課(课)」を再利用し上付き文字等で区別可能。
* 学習コスト: 「lecion(レッスン)」と同字の使い回しで新規文字を増やさない方針。

doktor / 博士 /  
　・理由: 中国語で「PhD・博士号」を指す語として極めて標準的。日本語でも「博士」で意味が直感しやすい。  
　・学習コスト: 「博」は後述の「博物馆(博物館)」とも共通し、転用しやすい。

1. profesor / 教授 /  
   　・理由: 中国語・日本語ともに「教授」は最も一般的かつ直感的。  
   　・学習コスト: 「教」は後述の「犹太教(ユダヤ教)」などとも共通しうる。
2. dekan / 院长 /  
   　・理由: 大学などの学部長を指す標準的表現(例: 法学院の「院长」)。  
   　・学習コスト: 既出・今後用いられる「院」と、学長「校长」の「长」を再利用できる。
3. rektor / 校长 /  
   　・理由: 大学(学校)の長を指す中国語として定番。「学長」「校長」に対応。  
   　・学習コスト: 「长」は「院长」と共通しており、重複利用可能。
4. institut / 研究院 /  
   　・理由: 研究機関(研究所・研究院)を示す表現として自然。日本語話者も「研究院」で大意をつかみやすい。  
   　・学習コスト: 「院」が「院长」と重複し、文字種を抑えられる。
5. instituci / 机构 /  
   　・理由: 一般的に「機関・組織」を意味する標準的な簡体字表現。  
   　・学習コスト: 「机」「构」は他でも使われる可能性がある部首・構成要素。
6. bibliotek / 图书馆 /  
   　・理由: 図書館の中国語として最も一般的。日本語の「図書館」とも対応。  
   　・学習コスト: 後の「博物馆」と同じ「馆」を共有できる。
7. muze / 博物馆 /  
   　・理由: 博物館を意味する最も標準的な簡体字。「博物館」と日本語でも対応し、互いに連想しやすい。  
   　・学習コスト: 「博」はすでに「博士」で登場、「馆」は「图书馆」と共通。「物」だけ新規だが使用頻度は高い。
8. laboratori / 实验室 /  
   　・理由: 中国語で「実験室」「研究室」を指す一般的表現。  
   　・学習コスト: 「室」はほかの「会议室」などでも転用しやすい(今後出現の可能性)。
9. observatori / 天文台 /  
   　・理由: 天文観測所などを指す標準的表現。日本語の「天文台」とも対応。  
   　・学習コスト: 画数はやや多めだが「天」「文」「台」は比較的頻出。
10. komitat / 委员会 /  
    　・理由: 実行委員会など「○○委員会」を指す標準的な中国語。  
    　・学習コスト: 「委」「员」「会」は後述の「委员会」「会议」「大会」などと部品を共用可能。
11. komision / 委员会 /  
    　・理由: (調査)委員会・委員会組織を表す際、中国語では同じ「委员会」が自然。  
    　・学習コスト: 「komitat」と同じく「委员会」を再利用で区別は上付き文字などで対処予定。
12. senat / 参议院 /  
    　・理由: 「上院」「参議院」を指す中国語表現。  
    　・学習コスト: 「院」は既出(院长・研究院)。さらに「议」は後述の「会议」とも共通。
13. parlament / 国会 /  
    　・理由: 「議会」「国会」の中国語(日本語も同じ「国会」)で直感的に通じる。  
    　・学習コスト: 「会」は既出(委员会など)につき、文字種抑制に貢献。
14. konsistori / 枢机会议 /  
    　・理由: カトリック教会などの「枢機卿会議」に相当する語として、「枢机+会议」が自然(「枢密院」は別概念)。  
    　・学習コスト: 「机」は「机构」と共通、「会议」は「konferenc」と共通。「枢」は新規だが専門的用法。
15. sinod / 主教会议 /  
    　・理由: 教会の「主教会議」(synod)を指す場合、中国語で「主教会议」が広く通用。  
    　・学習コスト: 「教」は「教授」「犹太教」と同じ、「会议」も既出で重複利用しやすい。
16. konferenc / 会议 /  
    　・理由: 会議全般を指す場合、中国語の「会议」が最も一般的。  
    　・学習コスト: 「会」は他単語でも既出。「议」も「参议院」などで再利用。
17. kongres / 大会 /  
    　・理由: 「(代表)大会」を指す際の標準表現。  
    　・学習コスト: 「大」と「会」はいずれも既出・汎用度高。
18. asemble / 集会 /  
    　・理由: 「assembly＝(人々の)集会」の意味。中国語では「集会」も自然。  
    　・学習コスト: 「会」は既出。「集」は新規だが頻出漢字の一つ。
19. teodor / 西奥多 /  
    　・理由: 人名テオドルを中国語で音訳すると一般的には「西奥多」。  
    　・学習コスト: 新たに「西」「奥」「多」を導入。ただし人名なのでやむを得ない。
20. jod / 碘 /  
    　・理由: ヨウ素(iodine)に対応する標準的簡体字。  
    　・学習コスト: やや専門用語だが、化学用語としては最適。
21. sod / 苏打 /  
    　・理由: ソーダを指す場合「苏打(苏打水)」が簡体字での一般的表記。  
    　・学習コスト: 「苏」「打」ともに比較的使用頻度が高い漢字。
22. jud / 犹太人 /  
    　・理由: ユダヤ人(Jew)は中国語で「犹太人」が通例。  
    　・学習コスト: 「犹」「太」「人」は初出だが、「太」「人」は基本的・頻出度高。
23. jud/ism## / 犹太教## /  
    　・理由: 末尾「##」付きで語根でない派生形だが、ユダヤ教なら「犹太教」。  
    　・学習コスト: 「犹」「太」「教」は既出/重複活用(「教授」と同じ教)。
24. judaism / 犹太教 /  
    　・理由: ユダヤ教(Judaism)の中国語表現として標準的。  
    　・学習コスト: 「教」は「教授」と同字。「犹」「太」は上記「犹太人」と同じ。

johan

* + 提案漢字: 未対応
  + 選定理由: 男性名としての固有名詞であり、標準的な音訳「约翰(約翰)」などは複数文字かつ汎用性が低い。
  + 学習コスト: 学習頻度が低い人名専用の漢字を無理につけるより、割当なしの方が総合的なコストを抑えられる。

1. jozef
   * 提案漢字: 未対応
   * 選定理由: 同上(男性名)。標準的な音訳「约瑟夫」も3文字以上になり汎用性が低い。
   * 学習コスト: 固有名詞に特有の漢字(「瑟」など)は学習負荷が高く、他への転用も難しいため未対応を選択。
2. aŭgust (意味: 8月)
   * 提案漢字: 八月
   * 選定理由: 中国語でも「八月」は素直に8月を示し、日本語話者にも意味が直感しやすい。
   * 学習コスト: 「八」「月」は画数が少なく、他の月や“月”全般との組み合わせでも汎用可能。
3. aŭgust## (男子名アウグスト)
   * 提案漢字: 未対応
   * 選定理由: 人名としては通常「奥古斯特」など複数文字が必要になり汎用性が低い。
   * 学習コスト: 複数の新規漢字を導入するほどのメリットがないため未対応。
4. juli (意味: 7月)
   * 提案漢字: 七月
   * 選定理由: 中国語で「七月」は7月の意味、日本語でも同様。
   * 学習コスト: 「七」も画数が少なく、他の数字と同様に統一感がある。
5. juni (意味: 6月)
   * 提案漢字: 六月
   * 選定理由: 中国語「六月」は6月を指し、日本語も同形でわかりやすい。
   * 学習コスト: 「六」は既に他の数字と共通の偏旁もなく、画数も少ない。
6. septembr (意味: 9月)
   * 提案漢字: 九月
   * 選定理由: 中国語でも「九月」は9月。日本語でも「九月」読みが容易。
   * 学習コスト: 「九」は単純な数字であり、学習コストが低い。
7. decembr (意味: 12月)
   * 提案漢字: 十二月
   * 選定理由: 中国語の12月表記。日本語圏でも同じ「十二月」で直感的。
   * 学習コスト: 「十」「二」「月」はすでに他の月・数字と共通しており汎用性が高い。
8. oktobr (意味: 10月)
   * 提案漢字: 十月
   * 選定理由: 中国語で10月を「十月」と書き、日本語も同様。
   * 学習コスト: 「十」は画数も少なく、多用される数字。
9. novembr (意味: 11月)
   * 提案漢字: 十一月
   * 選定理由: 中国語11月は「十一月」。日本語も「十一月」と書けば意味が通る。
   * 学習コスト: すでに使用する「十」「一」を組み合わせるのみ。
10. januar (意味: 1月)
    * 提案漢字: 一月
    * 選定理由: 中国語1月も「一月」、日本語の1月表記と同じ。
    * 学習コスト: 「一」は基本的な数字。
11. februar (意味: 2月)
    * 提案漢字: 二月
    * 選定理由: 中国語2月「二月」、日本語でも同様。
    * 学習コスト: 「二」は基本的な数字で画数少なめ。
12. mart (意味: 3月)
    * 提案漢字: 三月
    * 選定理由: 中国語3月「三月」、日本語とも共通。
    * 学習コスト: 「三」は基本的数字。
13. maj (意味: 5月)
    * 提案漢字: 五月
    * 選定理由: 中国語5月「五月」、日本語にも同形。
    * 学習コスト: 「五」は単純な数字で覚えやすい。
14. april (意味: 4月)
    * 提案漢字: 四月
    * 選定理由: 中国語4月「四月」、日本語同様。
    * 学習コスト: 「四」は既に数字系列で統一可能。
15. monat (意味: (暦の)月)
    * 提案漢字: 月
    * 選定理由: 「月」は“month”を示す最もシンプルな字。
    * 学習コスト: すでに上記「○月」で繰り返し使われる字なので新たな負荷は少ない。
16. lun (意味: [天]月＝moon)
    * 提案漢字: 月
    * 選定理由: 中国語でも「月」は“月亮(moon)”の意を含む。日本語でも“月”は「つき」。
    * 学習コスト: 同じ「月」を流用し、サブや上付き文字等で区別予定。
17. sun (意味: 太陽)
    * 提案漢字: 日
    * 選定理由: 漢語圏で「日」は「太陽」の意味合いを持つ(例: 日出=日の出)。日本語でも「日」は「ひ・太陽・日」を意味。
    * 学習コスト: 既出の数字・月と並ぶ最頻出漢字の一つ。
18. tag (意味: 日、日中)
    * 提案漢字: 日
    * 選定理由: 中国語で「日」は「日付/日」を表し、日本語でも“日”は昼間や暦日を表す。
    * 学習コスト: 「sun」と同じ「日」で区別は後で振り仮名等で対応可能。
19. dat (意味: 日付)
    * 提案漢字: 日期
    * 選定理由: 中国語で“日付”は「日期」が一般的。単一の「日」だけでは「日(=day)」との混同が起こりやすい。
    * 学習コスト: 「日」は既出。「期」は“周(週)”などでも用いられる可能性があり、使い回し可能。
20. hieraŭ (意味: 昨日)
    * 提案漢字: 昨天
    * 選定理由: 中国語では“昨日”は「昨天」が普通。日本語でも「昨日(きのう)」に通じる「昨」の字を含むため連想しやすい。
    * 学習コスト: 「昨」「天」はともに比較的基本的な漢字。
21. morgaŭ (意味: 明日)
    * 提案漢字: 明天
    * 選定理由: 中国語で“明日”は「明天」。日本語の「明日(あした)」にも「明」の字が通じる。
    * 学習コスト: 「明」も比較的初級で、既存の「天」と組み合わせやすい。
22. semajn (意味: 一週間)
    * 提案漢字: 周
    * 選定理由: 中国語では「周」も“週、週間”を意味し、日本語の「週」の簡体字に相当。
    * 学習コスト: 「周」は画数8で、「星期」より簡潔かつ再利用可能。
23. sabat (意味: 土曜日)
    * 提案漢字: 周六
    * 選定理由: 中国語で“土曜日”は「星期六」または「周六」。より画数少ない「周六」を採用。
    * 学習コスト: 「六」は既に6月などで使用。「周」は23番で採用済み。
24. dimanĉ (意味: 日曜日)
    * 提案漢字: 周日
    * 選定理由: 中国語で“日曜日”は「星期日」あるいは「周日」。こちらも画数を抑えた「周日」を選択。
    * 学習コスト: 「周」と「日」は共に既出。追加負担はほぼ無い。

ĵaŭd / 周四 / 中国語で「星期四」を略した形。「周」+「四」で木曜日を表す / 曜日全般を「周+数字」で統一すれば学習する文字数を最小化できる

1. vendred / 周五 / 中国語で「星期五」を略した形。金曜日を表す / 上と同じく「周+数字」の組み合わせで汎用性を確保
2. lund / 周一 / 中国語で「星期一」を略した形。月曜日を表す / 「周+数字」のパターンを継続
3. mard / 周二 / 中国語で「星期二」を略した形。火曜日を表す / 既出の「周」「二」を再利用
4. merkred / 周三 / 中国語で「星期三」を略した形。水曜日を表す / 既出の「周」「三」を再利用
5. in / 女 / 「女性・雌」を直接表す最も基本的な漢字 / シンプルで画数が少なく、日本人・中国人ともに容易に連想可能
6. nj / 妮 / 女性の愛称・小名として使われやすい / 「女」偏を含み、女性関連の語根に使い回しやすい
7. bert / 贝尔塔 / 中国語風に「ベルタ」を音訳した形 / 「贝」「尔」「塔」はいずれも人名・外来語で頻出しやすく転用可能
8. henriet / 亨利塔 / 「Henrietta」を簡略音訳（標準的には「亨丽埃塔」等が多い） / 完全な音訳ではないが、既出(または今後)の人名用漢字を組合せやすい
9. s-ro## / 先生 / 中国語で男性への敬称、日常的な「Mr.」に相当 / 日中双方で非常に高頻度の漢字組み合わせ
10. s-ino## / 女士 / 中国語で女性への敬称。「Ms.」「Madam」に相当 / こちらも中国語で常用され、日本でも「女」「士」は理解可能
11. sinjor/in## / 夫人 / 「淑女・貴婦人」に近い丁寧な呼称。中国語では「fūrén＝奥方、(やや格式高い)夫人」 / 既出の「夫」「人」(※後で登場する可能性を考慮)を組み合わせ
12. dam / 贵妇 / 「貴婦人」「dame」に相当 / 「贵」は“高貴”，「妇」は“女性”を示し、いずれも比較的頻用される字
13. varsovi / 华沙 / ワルシャワの中国語表記 / 「华」はワシントン(後述)とも共通し、再利用しやすい
14. vaŝington / 华盛顿 / ワシントンの中国語表記 / 「华」は既出、「盛」「顿」も人名地名で頻繁に登場しうる
15. bulonj / 布洛涅 / ブーローニュ（ブローニュ）の常用中国語転写 / 「布」「洛」「涅」は他の外来語でも応用可能
16. burnus / 披风 / 「ブルヌス（burnous）」本来は特定の民族衣装だが、一般的には「マント・外套」の意で近似 / 1文字厳選が難しいため、画数少なめの熟語「披(身にかける)＋风(風)」を暫定的に割当
17. london / 伦敦 / ロンドンの中国語表記 / 外来地名の定番表記で、日本人にも比較的馴染みがある
18. pariz / 巴黎 / パリの中国語表記 / こちらも有名地名として日中双方で認識しやすい
19. berlin / 柏林 / ベルリンの中国語表記 / 中国語での標準的表記
20. he / 喂 / 呼びかけ「おい！」に相当 / 日常会話で頻出し、「注意を促す」ニュアンスがわかりやすい
21. ha / 啊 / 驚き・感動の「ああ！」などに相当 / 漢字圏以外の学習者にも比較的覚えやすい感嘆詞
22. ho / 啊 / 同じ「啊」で再利用(発音・ニュアンスを区別するときは上付き数字等で補足) / 学習コスト削減のため同一字を使い回し
23. fi## / 呸 / 軽蔑・嫌悪を示す「チェッ！」に相当 / 中国語でもっとも一般的な「唾棄」の感嘆詞
24. ŭa / 哇 / 「ワァ！」など驚き・叫び声 / 中国語の感嘆でもよく使われる

ve / 唉 / 悲哀や嘆きを表す間投詞として妥当 / 口偏(くちへん)は他の感嘆詞などにも応用可

1. dank / 谢 / 「謝意を表す」単漢字として分かりやすく、簡体字でも画数12程度 / 感謝関連で再利用可能
2. bon/vol## / 请 / 「どうぞ～する」という丁寧な勧誘を表す語として最適 / 日常でも頻出のため学習優先度高
3. ĉe / 在 / 「～にいる」「～で」という位置・所在を示す用途で広く使われる / 学習優先度が高く再利用しやすい
4. nu / 那 / 会話で「さて」「じゃあ」等、話を切り出すニュアンスに近い / 中国語の日常会話で頻出する字
5. pli/ig## / 加 / 「増やす」をシンプルに表現できる単漢字 / 「加」は日本語でも「加える」で直感的に理解可能
6. daŭr/ig## / 续 / 「続ける」を意味する常用簡体字（伝統字：續） / 糸偏(いとへん)は学習優先度が高い部首の一つ
7. hav/ig## / 有 / 「持つ」に対応する最も基本的な漢字 / 画数も少なく、再利用価値が高い
8. od / 诗 / 「詩」「オード」(賛美歌的要素)を広く「詩」として割り当て / 日本語の「詩」と同形で認知しやすい
9. ven / 来 / 「来る」を表す非常に基本的な漢字 / 日本語でも「来」に通じ、学習しやすい
10. ĉe/est## / 出席 / 「出席する」の意味をそのまま表す熟語 / 両言語圏で通じやすい二字熟語
11. ĉj## / 哥 / 男性への親愛称呼(～兄さん的ニュアンス)として転用 / 完全一致は難しいが比較的近い感覚を表現
12. fraŭl / 未婚男 / 「未婚の男性」を直截に示せる三字組合せ / 後述の「未婚夫」などと部首を共有
13. fianĉ / 未婚夫 / 男性の婚約者を示す一般的表現 / 「夫」を再利用し、関連語根と統一感を持たせる
14. sinjor / 绅士 / 「紳士」を意味する漢字二字 / 日本語「紳士」と対応し、意味連想しやすい
15. vir / 男 / 「男性」を示す最も基本的漢字 / 画数が少なく汎用性が高い
16. edz / 夫 / 「夫」を示すシンプルな漢字 / 他の結婚関連語と組み合わせやすい
17. vilhelm / 威廉 / ドイツ語系の「ウィルヘルム」「ウィリアム」に対する慣用的な音訳 / 中国語で名前として広く通用
18. petr / 彼得 / 「ペテロ」「ピーター」に対する標準的な音訳 / 西洋男性名「Peter」の漢字転写
19. paŭl / 保罗 / 「パウロ」「ポール」に対する中国語での一般的音訳 / 画数はやや多めだが広く定着
20. romantik / 浪漫 / 「ロマンチック」を最も直接的に表す形容表現 / 日本語「浪漫」に近くイメージしやすい
21. romanc / 浪漫曲 / 音楽ジャンルとしての「ロマンス」明示に「曲」を追加 / 「浪漫」との親和性が高い
22. amor / 爱神 / 愛の神(クピド/Eros)を直截に「愛の神」と表現 / 「爱」は他でも使用頻度が高く再利用しやすい
23. am / 爱 / 「愛する」を示す最も基本的な漢字 / 画数10でやや多めだが日本語でも類推可能
24. zamenhof / 柴门霍夫 / 中国語文献などで見られる音訳(例：柴门霍夫) / 文字数・画数多めだが固有名詞として割当

hetman / 帅 / 旧時代の司令官のイメージ。「元帅(=marshal)」等に使う「帅」を転用 / 今後「marshal」にも同じ「帅」を再利用するため、学習コスト削減

1. kapitan / 长 / 「隊長」「船長」など、多くの“長”を表す漢字として「长」を転用 / 他の「～長」にも使える高頻度字なので学習コスト低
2. kaporal / 伍 / 中国語の「伍长」(伍=5人組の下士官)のイメージから / 軍階を示す際に「伍」が直接イメージでき、比較的シンプル
3. major / 少 / 中国語で「少校」、日本語で「少佐」に対応するイメージ / 画数が少なく、「少将」などにも応用可
4. kolonel / 上 / 中国語「上校」、日本語「大佐」のイメージ / 画数(3画)が少なく、既出字との組み合わせも容易
5. leŭtenant / 中 / 「中尉」に対応 / 「中将」「中校」など軍階層で汎用性が高い
6. general / 将 / 「将軍」「将官」のイメージ / 後述の「admiral」にも流用予定で、軍階用の重要字
7. oficir / 官 / 「軍官」「士官」を直接イメージしやすい / 「官僚」「官職」などでも使われる高頻度字
8. serĝent / 士 / 「士官候補生」「士」「兵士」などの基本イメージ / 画数も少なく使いやすい
9. herold / 传 / 「伝令官」「伝える」の意味合いで「伝(传)」を想起 / 通信・伝達の連想で分かりやすく、比較的画数も少ない
10. marŝal / 帅 / 「元帅(元帥)」に対応 / 「hetman」と同じ字を再利用し、学習コスト削減
11. stab / 参 / 「参謀」「参官」のイメージ / 軍の幕僚・参謀役を表すのに適し、後々「参加」などでも応用可能
12. admiral / 将 / 「海军上将」「提督」のイメージ / すでに「general」を「将」として割り当て済みで再利用
13. komisar / 委 / 「委员」「委員」に通じる / 政治・行政的役職を想起しやすく、比較的画数も多くない
14. ministr / 长 / 「部长」「大臣」に対応 / 2番目「kapitan」に続き「长」で再利用し学習コストを抑える
15. konsul / 领 / 「领事」に由来 / 中国語圏で「领」は非常に頻出(领导/领袖など)で汎用性高
16. prefekt / 长 / 「知事」「长官」を想定 / すでに「kapitan」「ministr」で使った「长」を再利用
17. kvestor / 财 / 「財務官」のイメージ / 「財」「財布」「财务」など金銭関連に通じ、分かりやすい
18. vasal / 臣 / 「家臣」「臣下」から連想 / 中国語・日本語ともに封建制の臣下を表しやすい
19. eŭnuk / 太监 / 「宦官」を中国語では一般的に「太监」と呼ぶ / 1文字で直接表す字が存在せず、2文字熟語を採用
20. ĉambelan / 侍 / 「侍従」「侍奉」から連想 / 比較的画数(8画)が少なく、日本人にも意味が取りやすい
21. kadet / 生 / 「士官候補生」「学生」の「生」 / 広く学習者・訓練生に転用でき、画数も少ない
22. adjutant / 副 / 「副官」「副長」など / 「副～」で“補佐・副次”の意味を表しやすい
23. inkvizici / 审 / 「審問」「審判」の核心となる字 / 宗教裁判(inquisition)の“審”を想起しやすい
24. inkvizitor / 判 / 「裁判官」を担当する人＝“判を下す人”のイメージ / 24番「审」と組み合わせれば「审判」の概念が成立

inspektor

* + 提案漢字: 监
  + 選定理由: 「监督(監督)」「监查(監査)」などに用いられ、監視・検査・監督の意味を直接想起しやすい。
  + 学習コスト: 画数(8画)も比較的少なく、「監」の簡体字として日中双方が意味を推測しやすい。

1. revizor
   * 提案漢字: 审
   * 選定理由: 「审计(審計)」「审查(審査)」のように“審査する・検閲する・監査する”意味を含む。
   * 学習コスト: 8画と比較的少なく、監査や審査の語感を日中双方が理解しやすい。
2. delegaci
   * 提案漢字: 代
   * 選定理由: 中国語「代表(団)」「代理」等の「代」に対応させて、「 delegaci = 代表団を派遣する・代理を送る」の連想が可能。
   * 学習コスト: 5画と少ないうえ、「代理」「代表」で日本語話者も把握しやすい。
3. reprezent
   * 提案漢字: 代
   * 選定理由: 上と同様「代理」「代表」の核心意味を担う字として再利用。「…を代表する」の意味。
   * 学習コスト: 同じ「代」を使い回すことで文字種の増加を抑えられる。
4. deput
   * 提案漢字: 代
   * 選定理由: 「depute(委任・代理を出す)」の意味に「代」を再度流用。「委派」「派遣」などをまとめて“代行”のイメージに収束させる。
   * 学習コスト: 既出文字の再利用により、新たな漢字導入を回避。
5. notari
   * 提案漢字: 证
   * 選定理由: 「公证(公証)」「证明(証明)」「证人(証人)」など“証明”“証拠”を扱う含意が強く、「公証人」の感覚に近い。
   * 学習コスト: 7画で比較的少なく、「公証」「証明」など日本語にも近い発想で理解しやすい。
6. kurator
   * 提案漢字: 监
   * 選定理由: 「監督・監護」の意を持つため、「監護人(監护人)＝guardian」「管財人(監管人)」的なイメージで「監」を再利用。
   * 学習コスト: 既出の「监」を再利用することで文字種の総数を削減。
7. agent
   * 提案漢字: 代
   * 選定理由: 「代理人」「代理商」に相当するため「代」を再利用。
   * 学習コスト: 既に(3)(4)(5)で使っている「代」の再利用で負担減。
8. advokat
   * 提案熟語: 律师
   * 選定理由: 中国語で「律师(弁護士)」が定訳。“弁護する職業人”のイメージが日中ともに明確。
   * 学習コスト: 二文字ではあるが、中国語では非常に一般的な語形。日本語話者も「法律(律)＋師」で想像しやすい。
9. asesor

* 提案漢字: 评
* 選定理由: 「评估(評価)」「评审(審査・評価)」など“評価・判定する”ニュアンスを中心に含む。「assessor」→「評定者」。
* 学習コスト: 7画で比較的少なく、日中とも「評論・評価」の感覚が掴みやすい。

1. mentor

* 提案漢字: 导
* 選定理由: 中国語で「导师(指導者)」「教导(教え導く)」等に用いられ、“指導者”のイメージを表しやすい。
* 学習コスト: 6画でシンプル。「導(どう)」に通じ、日中での連想もしやすい。

1. orator

* 提案漢字: 讲
* 選定理由: 「讲话(スピーチ)」「讲演」など“公に話す”ニュアンスを端的に表せる。
* 学習コスト: 6画。日本語では「講演」「講義」の「講」(旧字体は「講」)に通じ、意味が取りやすい。

1. profet

* 提案漢字: 预
* 選定理由: 「预言(予言)」「预告(予告)」など“先に言う、先に示す”で「預言者(先知)」を連想可能。
* 学習コスト: 4画と非常に少なく、日中ともに“予言”を連想しやすい。

1. ist

* 提案漢字: 人
* 選定理由: 「～する人・従事者」を示す最も基本的かつ画数の少ない字。「～家」「～者」の代用として活用可能。
* 学習コスト: わずか2画。学習の負担が極小。

1. patron

* 提案漢字: 保
* 選定理由: 「保护(保護)」「保佑(守護)」など“守る・後援する”意味の中核を成す。
* 学習コスト: 9画だが、「保険」「保護」など日中で共通する語が多い。

1. anonim

* 提案熟語: 无名
* 選定理由: 「无名(無名)」は“名前がない”＝“匿名”のイメージを直感的に表す。中国語でも「无名氏」などの用例がある。
* 学習コスト: 2文字(「无」4画 + 「名」6画=計10画)だが、「匿名」(16画)より画数がやや少なく、意味も把握しやすい。

1. pseŭdonim

* 提案熟語: 化名
* 選定理由: 「化名」は“仮名・変名・別名”を指す、日中ともに通じやすい簡体表現。ペンネーム(笔名)や偽名にも近い。
* 学習コスト: 2文字(「化」4画 + 「名」6画=計10画)。それぞれすでに他の語と共通する要素(「名」など)がある。

1. pseŭd

* 提案漢字: 伪
* 選定理由: 簡体字「伪」(日本語の「偽」)は“偽物・偽り”の意を直接示す。「pseud～」の語感に合致。
* 学習コスト: 8画で比較的短め。「偽(にせ)」の簡体字で日中ともに連想しやすい。

1. nom

* 提案漢字: 名
* 選定理由: “名前”の中心的な漢字。中国語で「姓名」「名片」、日本語で「名前」「名詞」などと結びつく。
* 学習コスト: 6画で単純。“名”そのものを押さえれば日中どちらにも通じる。

1. titol

* 提案漢字: 题
* 選定理由: 中国語「标题(タイトル・表題)」の中心字。「問題(もんだい)」「題名」などと通じ、見出し・題名を表せる。
* 学習コスト: 8画(「題」の簡体形)で、日本語の「題(だい)」と同源。

1. nominal

* 提案漢字: 名
* 選定理由: 「名義上の」「名目上の」にあたる表現をシンプルに“名”で再利用。「名義」「名分」などの派生も可能。
* 学習コスト: すでに(19)で出た「名」を再度流用。

1. nominativ

* 提案漢字: 主
* 選定理由: 「主格(しゅかく)」の“主”を取り、「主語」のイメージを想起しやすい。
* 学習コスト: 5画。既に「名」を多用しているため、新たに1字追加だが、十分シンプル。

1. fam

* 提案漢字: 名
* 選定理由: “名高い・有名”のイメージは「名」で表現可能。「名声」「名望」などと関連付けやすい。
* 学習コスト: 既出「名」を再度適用。

1. virtuoz

* 提案漢字: 名
* 選定理由: 「名人」「名手」のイメージ。“名高い名手”というニュアンスを端的に示せる。
* 学習コスト: 同じ「名」による再利用で文字種削減。

1. reputaci

* 提案漢字: 名
* 選定理由: 「名声」「評判」を意味する語を、まとめて「名」で扱う。「声」は加えずとも“名が通っている”を示唆可能。
* 学習コスト: 既に何度も出ている「名」を再利用。

### 1) honor

swift

Copy

honor/荣/「荣」(“荣誉”など)は「名誉・光栄」の意味を含む/画数9だが比較的高頻度で「光栄」「荣耀」などとも関連しやすい

* 理由: 「荣」は「荣誉」「光荣」などで使われ、「名誉」「名声」に近い意味を担う。
* 学習コスト: 単独でも漢字圏の学習者に馴染みやすく、他の“栄光・誉れ”の語根にも転用可能。

### 2) glor

swift

Copy

glor/荣/「光荣」の「荣」から転用。「光栄」「誉れ」のイメージ/「honor」と同じ字を使い回すことで学習コスト削減

* 理由: 「栄光」「光荣」などの文脈で「栄(荣)」は「栄光・光栄」を表しやすい。
* 学習コスト: 上記“honor”と同じ「荣」を使い回す。学習者は一度「荣」を覚えれば区別は上付き文字等で行う想定。

### 3) prelat

swift

Copy

prelat/神职/「神职(人员)」が宗教上の高位聖職者を指すのに比較的近い/「神」「职」ともに汎用度が高い漢字

* 理由: 「神职人员」は「聖職者」を指す表現として一般的。1文字で「聖職者」や「高位聖職者」を直接表す漢字はなく、2文字熟語で対応。
* 学習コスト: 「神」(示へん)や「职」(職の簡体)はいずれも常用性が高く、今後の宗教・役職関連語根にも応用可能。

### 4) superlativ

swift

Copy

superlativ/最/「最上級」を示す代表的な1文字/用法が広く、他の“最も〜”表現にも転用可能

* 理由: 「最」は「最上」「最高」など「スーパーレイティブ」を示すために最も直接的。
* 学習コスト: 1文字で意味が明快・頻出度も高い。

### 5) eminenc

swift

Copy

eminenc/阁下/中国語で高位の人に対する敬称。「台下」「殿下」などの代わりに比較的汎用性が高い/「阁」「下」は他の敬称系にも応用可能

* 理由: 「阁下」は「Your Eminence」「Your Excellency」相当の敬称として現代中国語で広く用いられる。
* 学習コスト: 2文字熟語だが他の「moŝt」「ekscelenc」などの敬称系にも流用しており、学習の重複を抑えられる。

### 6) moŝt

swift

Copy

moŝt/阁下/上記と同じ敬称を流用/同一熟語により学習負荷を軽減

* 理由: 「moŝt」は「閣下」等に相当する敬称。中国語でも「阁下」は上位敬称の定番。
* 学習コスト: 「eminenc」「ekscelenc」と同じ「阁下」を再利用する。

### 7) ekscelenc

swift

Copy

ekscelenc/阁下/「Excellency」に対応しうる敬称/既出の「阁下」と同じ割当で一貫性を保つ

* 理由: 「Excellency」も「阁下」と訳せるため、上記2例と統一。
* 学習コスト: 「阁」「下」は既出なので新規漢字学習を不要にする。

### 8) for/est##

bash

Copy

for/est##/不在/「不在」「欠席」という意味がもっとも一般的/「不」(否定)と「在」(存在)を再利用の余地あり

* 理由: 「不在」は「離れている・いない・欠席」を端的に表す。
* 学習コスト: 「不」は後述の“ne”にも使い回すため共通化。「在」も基礎的な漢字で汎用度が高い。

### 9) ajn

swift

Copy

ajn/凡/「凡(あらゆる/ありとあらゆる)」のイメージ。「～であろうと」「～でも」などを一文字化

* 理由: 「ajn」は「～でも」「～であろうと」など任意性を示す。中文では「凡是…」「凡～」で“あらゆる”ニュアンスを出せる。
* 学習コスト: 画数はわずか3画。使い回しもしやすい。

### 10) nenial

swift

Copy

nenial/无故/「理由が無い・無縁である」を示す熟語/「无」と「故」の組み合わせは比較的定番

* 理由: 「无故」は「理由なく」「何の故障もなく」「無縁に」というニュアンスに広く使われる。
* 学習コスト: 「无」(4画)は今後も多用予定。「故」はやや画数(9画)多めだが、比較的よく使う字。

### 11) neniel

swift

Copy

neniel/无从/「方法が無い」「どうにも～できない」の定型表現/「无」+「从」で「絶対にできない」の意味合い

* 理由: 「无从 (wúcóng)」は「～する方法がない」を示す慣用表現で、「絶対に～できない」や「どうしても～できない」に近い。
* 学習コスト: 「无」は既出。「从」(4画)も常用字。

### 12) nenies

swift

Copy

nenies/无主/「持ち主がいない」「誰のものでもない」を表現/「無主物」の感覚に近い

* 理由: 「无主」は「所有者が存在しない」「持ち主不在」の意味で、「誰の～でもない(所有)」に当たる。
* 学習コスト: 「无」は既出、「主」も基礎的で他に転用可能(「主人」「主要」など)。

### 13) neniu

swift

Copy

neniu/无人/「誰もいない」「どの～もいない」を表す決まり表現/「无人区」「无人车」など応用多

* 理由: 「无人」は文字通り「人がいない」「誰もいない」。
* 学習コスト: 「无」は既出、「人」は初出だが画数2で極めて基本。

### 14) neniu##

shell

Copy

neniu##/无人/上と同じく「誰もいない」を表す/学習負荷軽減のため同じ熟語を再利用

* 理由: 13と同内容につき再利用。
* 学習コスト: 新規なし。

### 15) sen

swift

Copy

sen/无/「～なしで」「～がない」→「无」が最もシンプル/否定の派生として広範に応用可

* 理由: 「sen」は「without」「～なし」を示すため、中国語の「无」(ない)を充てると直感的。
* 学習コスト: すでに他のnen-系にも出ている字なので重複利用が容易。

### 16) ne

perl

Copy

ne/不/最も基本的な否定語/「没有」などとの組合せでもよく使う基礎字

* 理由: エスペラントの「ne」は単純否定。中国語の代表的な否定「不」を使えば学習者にも分かりやすい。
* 学習コスト: 漢字としては4画と少なく、非常に高頻度。

### 17) neniom

swift

Copy

neniom/全无/「全く無い」「少しも～ない」を2文字熟語化/「毫无」も類似だが「全」(6画)の方がやや簡単

* 理由: 「全无」は「すべてが無い」「少しも～が無い」のイメージを表せる。
* 学習コスト: 「全」(6画)は今後他の表現「全部」などでも転用可。「无」は既出。

### 18) nenia

swift

Copy

nenia/无类/「どんな種類も存在しない」「どの類型もない」を意図して仮割当/古風だが「无类」で「種類が無い」ニュアンス

* 理由: 厳密には常用表現ではないが、「無類(類がない)」「前代未闻」的なイメージに近い。短く「無種類」を示すには比較的妥当。
* 学習コスト: 「无」は既出、「类」(10画)は「类型」「类别」などで一般的に使われる。

### 19) nek

swift

Copy

nek/也不/「～もまた…ない」「nor」を示す簡潔な2文字表現/「也」+「不」で「…もまた否定」

* 理由: 「也不」は「A也不～B也不～」で「AもBも～しない」などに使える。
* 学習コスト: 「不」は既出、「也」(3画)は初出だが頻出度が高い簡単な字。

### 20) nenie

swift

Copy

nenie/无处/「どこにも～ない」を表す慣用/「无处可去」などの言い回しがある

* 理由: 「无处 (wúchù)」は「どこにも(場所が)無い」「行き先が無い」の意。
* 学習コスト: 「无」は既出、「处」(5画)も多用される字(「处理」「到处」など)。

### 21) neniam

swift

Copy

neniam/从不/「決して～しない」「一度も～しない」→「从不」/「絶不」「永不」などもあるが「从不」がやや柔らか

* 理由: 「从不」は「いまだかつて～ない」という定型否定文。
* 学習コスト: 「从」は上記(無从)で既出、「不」は既出。

### 22) tia

swift

Copy

tia/如此/「そんな・あんな・そういう」のニュアンスを二字で/「如此这般」の略にも使われ、意味が通りやすい

* 理由: 「如此」は「そのように」「そんなふうに」と訳せる便利な表現。
* 学習コスト: 「如」(6画)、「此」(6画)。2文字だが比較的常用で日本語話者にも連想しやすい。

### 23) t.e.

css

Copy

t.e./即/「つまり」「すなわち」「i.e.」→「即」が端的/「即是」「即ち」にも通じる

* 理由: エスペラントの「tio estas(つまり)」を漢字1文字で凝縮。「即」は「～すなわち」「即ち」の意が強い。
* 学習コスト: 7画で比較的基本的な副詞(接続語的機能)として頻出。

### 24) ĝi

css

Copy

ĝi/它/「それ」「彼・彼女以外のもの」を指す三人称中性代名詞として標準/人以外にも広く使う

* 理由: 中国語での物・動物への三人称代名詞「它」(5画)が自然。
* 学習コスト: とても基本的で、中国語学習の初期に出る常用字。

### 25) tiu ĉi##

nginx

Copy

tiu ĉi##/这/「この」「これ(ここにあるもの)」/最も汎用性の高い指示代名詞

* 理由: 中国語の日常で最も頻用する指示語「这」(7画)を採用。
* 学習コスト: 常用必須漢字で応用範囲が広い。

tiam / 那时 / 「那(あの)＋时(とき)」で「その時」「あの時」を端的に示す表現 / 「那」「时」はどちらも頻出語。日本語圏にはやや馴染み薄い「那」だが、中国語圏では「那时」は非常に一般的で画数も比較的少ない

1. do / 所以 / 「だから・それゆえ」を表す常用接続詞 / どちらも常用字であり、中国語圏で「so」の意味に対応する代表的表現。画数は「所(8画)＋以(5画)」で合計13画とやや多めだが、高頻度語なので学習コストは低め
2. jen / 看 / 「ほら」「ここに」「見よ」と人の注意を引くときに使える単字 / 中国語圏で「見る」を意味し、呼びかけの「看……！」にも使われる。画数は9画だが、非常によく使う字で汎用性が高い
3. tie / 那里 / 「あそこ・そこ」を指示する際の標準的表現 / 「那(あれ)＋里(場所を示すニュアンス)」。どちらも高頻度字で、既出の「那」と同じ字を再利用
4. tie ĉi## / 这里 / 「ここ」を指す標準的表現 / 「这(これ)＋里(場所)」。日本語でも「這う(はう)」などで見かける「这」の簡体形だが、中国語圏では非常に頻出。既出の「里」と組み合わせて再利用
5. ĉie / 到处 / 「至る所」「あちこち」を表す常用表現 / 「到(到達)＋处(場所)」。いずれも使用頻度が高く、単に「处处」とする例もあるが「到处」がより一般的
6. kie / 哪里 / 「どこ？」を表す疑問詞 / 「哪(どれ)＋里(場所)」。すでに「那(あれ)」を使っているが、「哪」は同形で声調・発音の違う疑問形。頻用される構造なので、学習コストは比較的低い
7. ie / 某处 / 「どこか(不特定の場所)」を表す / 「某(ある・不特定)＋处(場所)」。やや文語的だが簡潔で意味が明瞭。ほかの「处(場所)」と同じ字を使っており、重複による学習コスト低減が期待できる
8. kia / 如何 / 「どんな」「どのような」を表す標準的疑問表現 / 「如(もし)＋何(なに)」の熟語で、中国語でも「どう・いかに」の意味を持つ。日本語でも「如何(いかが)」として馴染みがある
9. kies / 谁的 / 「だれの？」を表す疑問詞 / 「谁(だれ)＋的(〜の)」。既出の「谁」を再利用し、所有を示す「的」を付けることで「〜のもの？」という意味を明快に示す
10. kiu## / 谁 / 「だれ」「どれ(個別)」の疑問詞 / 中国語の代表的疑問代名詞。先に出た「谁的」と同じ「谁」を再利用し、学習コストを抑える
11. kiu / 谁 / 上と同様 / 同じく「誰？」という意味なので再使用して重複を回避
12. jes / 是 / 「はい」「そうです」を表す代表的な肯定語 / 中国語における「肯定」「〜である」を示す単字で、非常に高頻度・高汎用度
13. se / 如果 / 「もし〜なら」を表す条件節 / 「如(もし)＋果(結果)」。すでに「如」を「如何」で使用済み。「果」は新出だが「如果」は中国語で最も一般的かつ分かりやすい「if」表現
14. sed / 但是 / 「しかし」を表す接続詞 / 「但＋是」。既出の「是」を再利用し、非常によく使われる逆接表現。日常的にも頻出度が高い
15. kvankam / 虽然 / 「〜だけれども」「〜とはいえ」を表す定番表現 / 「虽(旧字体: 雖)＋然」。中国語で逆接・譲歩を示す際の代表的な接続詞。よく使われるため学習コストは比較的低め
16. tamen / 然而 / 「しかしながら」「それでもなお」を表す定番の逆接 / 「然＋而」。前項の「然」をそのまま使い回し。「而」は新出だが、接続詞的表現としてよく出るため覚えやすい
17. tamen## / 然而 / 上と同義・同ルーツとして同じ熟語を再利用 / すでに割当済みの「然而」を再使用し、重複の回避と学習コストを低減
18. eĉ## / 甚至 / 「さえ」「〜ですら」を表す際の基本的な副詞 / 「甚＋至」。中国語において「even」を示す代表的表現。やや画数は多いが汎用的
19. ankoraŭ / 还 / 「まだ」「いまだに」「さらに」を表す語 / 中国語の口語では「还＋動詞」で「まだ〜している」の意味が一般的。単字なので学習が容易
20. kiom / 多少 / 「どれほど」「どれくらい」「いくつ？」を表す疑問詞 / 中国語の「量・数」に関する代表的疑問語。日本語でも「多少」は「たしょう」としてなじみがあり、意味類推がしやすい
21. kiom## / 多少 / 上と同様 / 同じ根義の繰り返しとして再使用し、学習負担を減らす
22. kiom## / 多少 / 上と同様 / 繰り返しにより同じ熟語を再利用

kelk / 些 / 「些」は「一些」の「些」で「いくらか」「若干」を表し、数量が多くない「幾つか」を示すのに使われる /

* + 学習コスト: 「些」は日本語ではやや文語的ですが、中国語では「一些」などで頻出。「少」や「几」と比べると“具体的に「少し」「幾つか」のニュアンス”が分かりやすい。

1. iom / 少 / 「少」は「少し」「少量」という意味が強く、「いくらか」「多少」といったニュアンスを示しやすい /
   * 学習コスト: 画数も少なく、日本語・中国語ともに初級段階で目にする常用漢字。
2. mult / 多 / 「多」は「多い」という意味で直感的に対応 /
   * 学習コスト: 画数が少なく、きわめて頻度が高い漢字の一つ。
3. tiom / 那多 / 「そんなに多い」「あんなに多い」というニュアンスを2文字で補う（“那”+“多”） /
   * 学習コスト:
     + 「多」は既出。
     + 「那」は日本語だとやや馴染みが薄いが（地名などで見かける程度）、中国語では「その」「あの」等を示す常用字。
4. plej / 最 / 「最も」「一番」を表す漢字として最適 /
   * 学習コスト: 漢字1文字で「もっとも」を表現するのに広く使われるため、日中とも理解しやすい。
5. maksimum / 最大 / 「最も大きい」→最大 /
   * 学習コスト: 「最」は既出。新たに「大」が増えるが、こちらも頻出・画数少なめの基本字。
6. almenaŭ / 至少 / 「少なくとも」を示す一般的表現 /
   * 学習コスト:
     + 「少」は既出。
     + 「至」は新規だが、日本語でも「至る」「至極」などで見かける。
7. minimum / 最小 / 「最も小さい」→最小 /
   * 学習コスト: 「最」は既出。新たに「小」が加わるが、こちらも画数が少なく常用度が高い。
8. ĉia / 各种 / 「あらゆる種類の」「すべての種類の」に相当 /
   * 学習コスト:
     + 「各」は後述の「po(各〜ずつ)」などにも流用可能。
     + 「种」(日本語の「種」の簡体字)も中国語では頻出なので、割当としては汎用性が高い。
9. tut## / 全 / 「まったく」「完全に」という意味合い(根ではないが一応対応) /

* 学習コスト: 単独で「すべて」「完全」を表す。

1. ĉiom / 全部 / 「数量的に全部」「すべて」を示す最も一般的な熟語 /

* 学習コスト:
  + 「全」は既出。
  + 「部」は新規だが、中国語・日本語ともに「部分」「部門」などで非常に高頻度。

1. tut / 全 / 「全部の」「全体の」 /

* 学習コスト: すでに「全」が出ているので追加コストなし。

1. respektiv / 分别 / 「それぞれ」「各自」というニュアンスの最も標準的な中国語表現 /

* 学習コスト:
  + 「分」は画数4、頻度高。
  + 「别」は画数7、これも日常でよく使われる。
* 「各别」という表現もあるが、より一般的な「分别」を採用。

1. po / 各 / 「〜ずつ」「めいめいに」「各々に」を表す際に用いる簡単な文字 /

* 学習コスト: 「各」はすでに「各种」で登場済み。同字再利用。

1. ĉies / 每人 / 「皆の」「各人の(所有)」→直訳すれば“各人(のもの)”だが、簡素に「每人」で対応 /

* 学習コスト:
  + 「每」は後述の “ĉiu” でも使うので重複利用可能。
  + 「人」は非常に基本的で画数も少ない。

1. ĉiu / 每 / 「各々の」「すべての〜」の意(人に限らず“every”や“each”の感覚) /

* 学習コスト: 「每」は上記(ĉies)と同じなので追加コストなし。

1. ĉiu## / 每个 / 個別に一つずつ、というニュアンスを強調(「各個」「一人一人/一個一個」) /

* 学習コスト:
  + 「每」は既出。
  + 「个」は中国語では量詞などで超頻出。

1. ju / 越 / 「〜すればするほど」の構文を連想させる最適な1字 /

* 学習コスト: 「越」はやや画数(12画)あるが、「越...越...」構文は中国語で非常に代表的。

1. ol / 比 / 比較を表す助詞として「〜より」→「比」 /

* 学習コスト: 日常的に「A比B大/多/快…」などの表現で登場。

1. des / 越 / 「それだけいっそう」「ますます」というニュアンスは“ju...des...”でセットになるため、  
   「ju」「des」を同じ「越」にまとめ、上付き数字等で使い分けを想定 /

* 学習コスト: 新規字なし(ju で既出)。

1. pli / 更 / 「より」「もっと」を表す1字 /

* 学習コスト: 画数10(「更」)だが、中国語で「更好」「更大」など「より〜」の意味が分かりやすい。

1. plu / 更 / 「さらに」「なお一層」「続けて」というニュアンスは「更(さらに)」で共通化 /

* 学習コスト: 新規字なし(pli で既出)。区別は上付き文字などで調整。

1. preter / 过 / 「〜のそばを通って」「(ある地点・範囲を)越えて」という意味を1字で近似 /

* 学習コスト: 中国語では「走过」「越过」「经过」など通過・超過系統で頻用。

1. pas / 过 / 「通過する」「経過する」を表すために同じ「过」を割当 /

* 学習コスト: すでに「preter」と同じ文字で、後に区別が必要なら上付き文字等で対処。

1. sur / 上 / 「〜の上に」「上面に接して」の意 /

* 学習コスト: 画数少なく、「上」は日本語・中国語で非常に基本的。

trans

* + 提案: 越
  + 理由: 「越」は「越える」「乗り越える」「超える」の意があり、「across/beyond」のニュアンスに近い。
  + 学習コスト: 画数は12画だが、「超」「过」「跨」などと同様によく使われる字。「日本語の“越える”」との対応で意味を連想しやすい。

1. kontraŭ
   * 提案: 反
   * 理由: 「反」は「反対する」「逆らう」を意味し、「against, opposed to」に対応しやすい。
   * 学習コスト: 4画と比較的少なく、日中ともに基本的な字。
2. al
   * 提案: 向
   * 理由: 「向」は「…に向かう」「…へ行く」の方向性を表し、「toward(s)」に合致。
   * 学習コスト: 6画。日中とも「方向」「向かう」の意味でおなじみ。
3. ĉiam (いつも・常に)
   * 提案: 常
   * 理由: 「常」は「いつも」「常に」を表す漢字として日中双方で認知度が高い。
   * 学習コスト: 11画だが頻用漢字であり、日本語の「常に」「日常」などから意味を推測しやすい。
4. oft (たびたび・しばしば)
   * 提案: 频
   * 理由: 「频」は「频繁」「频度」など「頻度が高い、しばしば起こる」という意味を持つ。
   * 学習コスト: 12画とやや多いが、中国語では「频繁(frequent)」に用いられる常用字。
5. kiam (いつ(時)？)
   * 提案: 何时
   * 理由: 直訳すると「何の時？」→「いつ？」を問う表現。「什么时候」と同義だが2文字に縮約。
   * 学習コスト: 「何(7画)」「时(7画)」はいずれもよく使う字で、日本語の「何」「時」と対応し認識しやすい。
6. iam (ある時、いつか)
   * 提案: 某时
   * 理由: 「某」は「ある(不特定の)」、そこに「时」を合わせて「ある時」「いつか」を表現。
   * 学習コスト: 「某(9画)」は日中ともになじみがある(日本語の「某〇〇」に近いニュアンス)。「时」は既出。
7. ia/foj## (「ある時」≒“sometimes” のような意味合い)
   * 提案: 有时
   * 理由: 中国語の「有时(ある時は…)」→「時々/たまに/時には」を表す。
   * 学習コスト: 「有(6画)」「时(7画)」ともに基本字。すでに「时」は他の語でも使用。
8. adiaŭ (さようなら)
   * 提案: 再见
   * 理由: 中国語で「再见」は「また会う(再び会う)→さようなら」の定番表現。
   * 学習コスト: 「再(6画)」「见(4画)」はいずれも基本的で、日本語にも「再(さい)」「見(みる)」があり連想しやすい。
9. jam (すでに)

* 提案: 已
* 理由: 「已」は「すでに」という意味の単字(「已经」=already の略的用法)。
* 学習コスト: 3画と非常に少なく、覚えやすい。日中ともに比較的基本的な漢字(日本語の「已然形」などにも残る)。

1. antaŭ (…の前に/…より先に)

* 提案: 前
* 理由: 「前」は「前面」「先立つ」「以前」など「before, in front of」を表す最も直接的な漢字。
* 学習コスト: 9画と標準的。日中とも「前」はよく使う。

1. anticip (前もってする/予想・見越す)

* 提案: 预
* 理由: 簡体字「预」は「預(あらかじめ)」「予測」「预先」などの要素を含み、「anticipate」に近い。
* 学習コスト: 4画と少なく、活用範囲も広い(「预计」「预报」「预防」など)ため汎用性が高い。

1. apenaŭ (かろうじて/ほとんど…ない)

* 提案: 仅
* 理由: 「仅(仅仅)」は「わずか」「かろうじて」「ほんの…しかない」に相当。
* 学習コスト: 4画。非常に簡潔。日本語話者にも「僅(わずか)」と類似の形で連想しやすい。

1. apenaŭ## (同上：かろうじて)

* 提案: 仅
* 理由: 同じ語根(末尾##の扱い)なので同一字で対応。
* 学習コスト: 同上。

1. aŭ (または・あるいは)

* 提案: 或
* 理由: 「或」は「あるいは」「または」を表す基本字。
* 学習コスト: 8画。中国語では「或者」、日本語では「或いは」で使われ、連想しやすい。

1. ĉu## (~かどうか？を表す疑問)

* 提案: 吗
* 理由: 中国語の疑問助詞「吗」は「…ですか？」「…かどうか？」というYes/No疑問を表す代表的用字。
* 学習コスト: 6画。中国語の初歩段階で習う非常に基本的な字。

1. ĉu (~か？を表す疑問)

* 提案: 吗
* 理由: 上記同様、Yes/No疑問を表す語として一貫性を保つために同字を提案。
* 学習コスト: 同上。

1. kvazaŭ (まるで…のように)

* 提案: 似
* 理由: 「似」は「…に似ている」「まるで…のようだ」という意味を含む。
* 学習コスト: 6画で比較的覚えやすく、日本語でも「似る」「類似」で使われ連想可能。

1. kvazaŭ## (同上)

* 提案: 似
* 理由: 同一語根(末尾##)で扱いが同じため、同字を再利用。
* 学習コスト: 同上。

1. probabl (ありそうな/おそらく)

* 提案: 大概
* 理由: 中国語「大概」は「おそらく」「多分」の意味で使いやすい常用表現。
* 学習コスト: 「大(3画)」「概(14画)」とやや差があるが、「大」は極めて基本的。「概」も「概念」などで登場し比較的認知度がある。

1. ebl (可能(受身)／～できる)

* 提案: 可能
* 理由: 中国語の「可能」は「…することができる」「可能性がある」を表し、「ebl」に近い。
* 学習コスト: 「可(5画)」「能(10画)」はいずれも極めて頻出。日本語でも「可能」として同形。

1. sub (~の下に)

* 提案: 下
* 理由: 「下」はシンプルに「under, below」。
* 学習コスト: 3画。もっとも基本的な方向詞の一つ。

1. post (~の後で)

* 提案: 后
* 理由: 簡体字「后」は「後(のち)」「後ろ」「あとで」などを意味。
* 学習コスト: 6画。日本語の「後(あと)」とも対応しやすい(簡体字の形に注意)。

1. dum (~する間・~の間)

* 提案: 当
* 理由: 中国語で「当…时(…の時)」「当(…している)間に」という用法があり、文脈に応じ「while/during」を表せる。
* 学習コスト: 6画。ほかにも「当心」「当然」「担当」など基本単語に含まれ、学びやすい。

1. dum## (同上: ~の間)

* 提案: 当
* 理由: 同一語根(末尾##)のため再利用。
* 学習コスト: 同上。

inter / 间 / 「間(あいだ)」の簡体字であり、「～のあいだ・間に」という意味を直感しやすい / 画数が比較的少なく、日本語の「間」と同源で認識しやすい

1. en / 中 / 「(の)中で、内側に」という意味が明快 / 日中で共通する最も基本的な漢字の一つで学習コストも低い
2. konsist / 组成 / 「～から成り立つ」「構成する」を表す常用語 / 「组(組)」「成」はいずれも日中両言語で頻出し、今後も転用しやすい
3. de / 的 / 所有・由来など「～の」「～から」「～によって」を広く表せる / 中国語で最頻出の文法的機能字であり、日本語でも「目的」などの語に含まれ馴染みがある
4. el / 出 / 「(の)中から・外へ出る」という意味を1字で分かりやすく示せる / 日本語の「出」と同形で学習が容易
5. ĝis / 到 / 「～まで、～に至る」を表す最も基本的な語 / 日本語の「到達」などでも馴染みがあり、画数も多くない
6. ĝis## / 到 / 意味は同じく「～まで」。再利用 / 同じ字を使い回すことで学習コストを下げられる
7. per / 以 / 「～によって」「～を用いて」という意味合いを簡潔に表現 / 日本語でも「以後」「以内」などで用いられ、理解しやすい
8. pri / 关于 / 「～について、～に関して」を表す代表的表現 / 「关(関)」「于」はどちらも基本字で、「关于」は現代中国語で「～について」の定型表現
9. tra / 通 / 「～を通って」「通過して」という意味にぴったり / 単字の「通」は日中で共通の概念を持ち、再利用もしやすい
10. k.t.p. / 等 / 「など、etc.」を最も簡単に示せる / 日本語「等号」「等々」などと同じ字形でわかりやすい
11. kun / 共 / 「ともに、いっしょに」を一字で表現 / 日本語「共同」「共通」などと同根で、画数も少なめ
12. ankaŭ / 也 / 「～もまた」「同様に」の意を古典的かつシンプルに示す / 現代中国語ではやや文語寄りだが、字形が簡単で日本語でも見かける漢字
13. kaj / 和 / 「そして、～と」という意味の接続を表す代表的字 / 日本語でも「和食」「和風」など馴染みのある漢字で、多用される
14. potenc / 力 / 「(勢)力、パワー」を単純明快に示せる / 日中いずれでも最も基本的な「力」であり学習が容易
15. aŭtoritat / 权 / 「権威、権力」を示す簡体字 / 本来は「權」の簡体字で、中国語では「権威」「特権」など多数の熟語に含まれ汎用性が高い
16. reg / 治 / 「(政を)治める、統治する」を表す際に使い勝手がよい / 日本語の「政治」「治安」「治療」など多用され、字形も比較的単純
17. hegemoni / 霸权 / 「覇権、主導権」に対応する標準的な中国語 / 「权」は既出、ただ「霸」はやや画数が多いが「覇」の簡体であり広く通用する
18. regent / 摄政 / 「摂政」を示す標準表現 / 「摄(攝)」「政」はいずれも政治関係で再登場の可能性あり
19. prerogativ / 特权 / 「特権、特別な権利」を示す熟語 / 「特」は基本的な形で、「权」は既出文字を再利用
20. administr / 管理 / 「(を)管理する」の定番表現 / 「管」「理」はいずれも日本語でなじみ深く、画数も比較的抑えめ
21. administraci / 行政 / 「行政、管理部門」を指す標準表現 / 「行」(動く・おこなう)と「政」(政治・統治)で構成し、政府系や組織の管理部を連想しやすい
22. direktor / 经理 / 「管理者、ディレクター、マネージャー」に相当 / 中国語で職場や組織の責任者を指す一般的語。すでに使った「理」を再利用
23. intendant / 管家 / 「執事、家の管理をする人」を示す表現 / 「管」は既出で管理を連想しやすく、「家」は日中で「家(いえ)」の意味を共有
24. prezid / 主持 / 「(会議などの)議長を務める、司会する」の意 / 中国語で「司会・進行」を意味する常用表現。「主」は既出活用の可能性も高い

mastr / 主 /

* + 選定理由: 「主人」「主(人)」の意味を端的に表し、日本語話者・中国語話者双方に馴染みがある。画数(5画)も比較的少ない。
  + 学習コスト: すでに最重要級の漢字の一つであり、他の語根にも転用が見込まれる。

1. ĉef / 首 /
   * 選定理由: 「首(都)」「首(長)」など“最も重要な部分・先頭”を表す漢字として、中国語でも「主要」などと関連性が高い。
   * 学習コスト: 画数(9画)はやや多いが、日本人にも「首都」「首相」で馴染みがある。すでに広く使われる重要漢字。
2. estr / 长 /
   * 選定理由: 中国語で「校长(校長)」「厂长(工場長)」「部长(部長)」など、組織や集団の“長”を指す際に非常に頻用される。エスペラントにおける「～長」を示す接尾辞のイメージに合致。
   * 学習コスト: 「长」は「長」の簡体字で、日本語話者にも意味は伝わりやすい。
3. mastr/um## / 家务 /
   * 選定理由: 「家事・家の仕事」を意味する中国語の常用表現。「家(10画)」と「务(5画)」はいずれも頻度が高く、日本人にも比較的イメージしやすい。
   * 学習コスト: すでに「务」は後述の「服务」「任务」などで重複使用するため、学習負担を軽減。
4. vart / 养 /
   * 選定理由: 簡体字の「养(養)」は“育てる・養う”の意で、保育・飼育など幅広い「育成」ニュアンスに対応。
   * 学習コスト: 画数(6画)は少なめ。「養」の簡体字として日本人にも連想しやすい。
5. zorg / 照顾 /
   * 選定理由: 中国語で「照顾」は“世話をする・面倒を見る”という意味合いが強く、「zorg(世話・心配・ケア)」に近い。
   * 学習コスト: 新たに「照(13画)」「顾(9画)」を導入するが、非常に一般的な表現で、日本語話者にも「照顧(照顾)」として意味を推測しやすい。
6. fleg / 看护 /
   * 選定理由: 「看护」は医療・介護の場面で使われる看護的ニュアンスが強く、「fleg(看護する)」に合致。
   * 学習コスト: 「看(9画)」「护(8画)」。いずれも基本的な漢字で、特に「护(護)」は“守る・保護”を連想しやすい。
7. kelner / 服务员 /
   * 選定理由: 現代中国語で「ウェイター」「給仕」に当たる最も一般的な表現。「服务(サービス)＋员(人員)」。
   * 学習コスト: 「服务」は後述の「serv」にも使い回すため、実質「员(7画)」が新出。いずれも高頻度。
8. serv / 服务 /
   * 選定理由: 中国語で「サービスする」「仕える」の標準的な動詞表現。「serv」の語感に最も近い。
   * 学習コスト: 既出の「务(家务)」と新たに「服(8画)」を組み合わせるだけなので汎用性が高い。
9. deĵor / 值班 /

* 選定理由: 中国語の「值班」は“当直する・勤務に就いている”の定番表現。
* 学習コスト: 「值(10画)」「班(10画)」は新規導入だが、“勤務中”を表す日常用語として汎用性がある。

1. meti / 手工 /

* 選定理由: 「手工」は“手作業・手工芸”の意味で、中国語圏でも「手工制品(ハンドメイド)」など日常的に使われる。
* 学習コスト: 「手(4画)」と既出の「工(3画: 後述の工作で使用)」のみで構成し、非常にシンプル。

1. profesi / 职业 /

* 選定理由: 中国語で「职业」は“職業”の意味を最も端的に示す。
* 学習コスト: 「职(11画)」「业(5画)」。以降「职务」などにも転用できる。

1. karier / 事业 /

* 選定理由: 「事业」は“キャリア・事業・大きな仕事”などのニュアンスを含み、「身を立てる道」としての意味を表しやすい。
* 学習コスト: 「事(8画)」「业(5画)」。すでに「业」は「职业」と共通。

1. rol / 角色 /

* 選定理由: 中国語で「角色」は“役割・役柄”を意味する標準表現。「角(7画)＋色(6画)」。
* 学習コスト: 日本語の「角色(キャクショク)」としても想像しやすく、演劇などの文脈でも使われる。

1. servut / 奴役 /

* 選定理由: 「奴役」は“隷属・苦役・奴隷状態”を表し、歴史的な夫役(封建社会下の労役)のイメージに近い。
* 学習コスト: 「奴(5画)」「役(7画)」はいずれも比較的基本的な漢字。

1. posten / 岗位 /

* 選定理由: 中国語で「岗位」は“ポスト・配置された持ち場・職務上の配置”を意味し、軍や職場での「部署」に相当。
* 学習コスト: 「岗(8画)」「位(7画)」で合計15画。どちらも比較的よく使われる。

1. ofic / 职务 /

* 選定理由: 「职务」は“職務・公職上の責任”を示す中国語表現。エスペラントでの「オフィス・職務」の意味に合う。
* 学習コスト: 既出の「职(11画)」「务(5画)」を組み合わせるだけで新たな漢字はなし。

1. task / 任务 /

* 選定理由: 「任务」は“任務”を意味し、対応が明確。
* 学習コスト: 「任(6画)」が新規だが、「务(5画)」は再利用。非常に一般的。

1. labor / 工作 /

* 選定理由: 「工作」は“働く・仕事をする”の意。「劳动(láodòng)」よりも画数が少なく、「labor」の意味にも近い。
* 学習コスト: 既出の「工(3画)」＋新出の「作(7画)」。どちらも常用で汎用性が高い。

1. okup / 从事 /

* 選定理由: 「从事」は“～に従事する・取り組む”を表し、「occupy (a position)」「engage in」などの意味に対応しやすい。
* 学習コスト: 「从(4画)」「事(8画)」。すでに「事」は「事业」で登場済み。

1. dung / 雇佣 /

* 選定理由: 中国語で“人を雇う”際の定番表現。
* 学習コスト: 「雇(9画)」「佣(7画)」はいずれも雇用関連で頻出するが、新規導入ではある。

1. legitim / 证¹ /

* 選定理由: “(身元などを)証明する/合法とする”というニュアンスを、中国語の「证(証)」でカバー。後述「pruv」「atest」「konstat」と区別する場合は上付き¹などを付して区別。
* 学習コスト: 画数(5画)は少なく、多用途に流用可。

1. pruv / 证² /

* 選定理由: “(事実・論理を)証明する”という意味にもっとも直結する簡体字。
* 学習コスト: 上記の「legitim」と同じく「证」で、上付き²などで区別。

1. atest / 证³ /

* 選定理由: “(証言する・証拠立てる)”→ 中国語で「证明/证实」とほぼ同義だが、まとめて「证」で対応可。
* 学習コスト: 同上。上付き³などで使い分け。

1. konstat / 证⁴ /

* 選定理由: “(事実かどうかを)確認・立証する”意味。中国語の「确证」「验证」「确认」などにも近いが、同じ「证」を流用し区別(上付き⁴)する形で学習コスト削減。
* 学習コスト: 同上。

konfirm

* + 提案漢字: 定
  + 選定理由: 「確認する」「確定する」のニュアンスを持つため、「決定」「限定」などと同じく「定」に集約。
  + 学習コスト: 「定」はほかにも「definitiv」「decid」「determin」「difin」など複数語根で使い回す予定なので、学習コスト低減に寄与。

1. sankci
   * 提案漢字: 可
   * 選定理由: エスペラント辞書では「承認する・認可する・制裁する」など幅広い意味を持つが、ここでは「正式な承認・許可」のニュアンスを重視し、「可」に集約。中国語の「认可」「许可」ともつながりやすい。
   * 学習コスト: 「permes」「licenc」など同類の「許可系」と共通化することでコスト低減。
2. permes
   * 提案漢字: 可
   * 選定理由: 「許可する」の意味。中国語では「许可」「允许」、いずれも「可」の字が含まれる(“许可”の“可”)ので妥当。
   * 学習コスト: 「sankci」「licenc」と同じ「可」を再利用。
3. licenc
   * 提案漢字: 可
   * 選定理由: 「ライセンス」「公的認可」の意味をまとめて「可」に。実際の中国語では「执照(license)」「许可证」などだが、本稿の方針(単一字に集約)を優先。
   * 学習コスト: 「sankci」「permes」と同じ「可」を使い回す。
4. definitiv
   * 提案漢字: 定
   * 選定理由: 「最終決定の」「確定的な」というニュアンス。すでに「konfirm」などと同じく「定」で十分対応可能。
   * 学習コスト: 「定」を流用。
5. decid
   * 提案漢字: 定
   * 選定理由: 「決定する」を直接イメージできる漢字。中国語の「决定(juédìng)」とも関連性が高い。
   * 学習コスト: 既出「定」の再利用。
6. determin
   * 提案漢字: 定
   * 選定理由: 「確定する」「定める」の意味。こちらも「決める」「確定する」の領域なので「定」に統一。
   * 学習コスト: 同上。
7. diagnoz
   * 提案漢字: 诊
   * 選定理由: 中国語の「诊断(zhěnduàn)」に直接対応。日本語では「診察」「診断」で用いられる要素。
   * 学習コスト: やや医療系に特化した字だが、画数は比較的少ない(約5〜6画)ため比較的負担は小さい。
8. difin
   * 提案漢字: 定
   * 選定理由: 「定義する」は「下定義(=定義を与える)」とも通じる。意味的にも「定」を使い回し可能。
   * 学習コスト: 既出「定」の再利用。
9. disting

* 提案漢字: 分
* 選定理由: 「区別する」「見分ける」というニュアンス。中国語でも「区分」「分辨」などがあるが、最も画数が少ない「分」を採用。
* 学習コスト: 新出ではあるが、非常に基本的な漢字(4画)で汎用性も高い。

1. pek

* 提案漢字: 罪
* 選定理由: 宗教・道徳的な「罪を犯す」なら「罪」が最も直接的。
* 学習コスト: 後述の「krim」「kulp」と共有できるので、まとめて覚えられる。

1. kulp

* 提案漢字: 罪
* 選定理由: 「罪がある」「有罪」のニュアンス。「罪」を使い回せる範囲として一括。
* 学習コスト: 「pek」「krim」と同じく「罪」で統一。

1. krim

* 提案漢字: 罪
* 選定理由: 「犯罪」。こちらも「罪」で一括して問題ない。
* 学習コスト: 既出「罪」の再利用。

1. pun

* 提案漢字: 刑
* 選定理由: 「罰する」「刑罰」「処罰」というとき、漢字1文字なら「刑」が代表的。
* 学習コスト: 後の「kriminal(刑事)」「ekzekut(死刑執行)」等とも共有しやすい。

1. kondamn

* 提案漢字: 判
* 選定理由: 「罪を宣告する」「有罪判決を下す」「糾弾する」等。中国語の「判决(pànjué)」「判罪」に通じるので「判」。
* 学習コスト: 「juĝ(裁判)」「arbitraci(仲裁)」と共通化可能。

1. kriminal

* 提案漢字: 刑
* 選定理由: 「刑事上の」「犯罪の」という意味なので、その語幹「刑」で対応。
* 学習コスト: すでに「pun」と同じ「刑」で統一。

1. ekzekut

* 提案漢字: 刑
* 選定理由: 本来「死刑執行」は「行刑」「处决」などがあるが、単独1字で強く「処刑」を連想できるのは「刑」。
* 学習コスト: 既出の「刑」と同じため、負担増なし。

1. akt

* 提案漢字: 令
* 選定理由: 劇の「幕」や法的な「法令・条例」など広義の「アクト(行為・布告)」。一文字では「令」が「命令」「号令」「法令」等を連想させ、まだ汎用性が高い。
* 学習コスト: 新出だが5画で比較的シンプル。

1. proces

* 提案漢字: 讼
* 選定理由: 法的文脈では「诉讼(sùsòng)＝訴訟」が定番。簡体字のうち、より画数の少ない「讼」で対応。
* 学習コスト: 新出だが6画程度でそこまで複雑ではない。

1. procedur

* 提案漢字: 序
* 選定理由: 「手続き」「順序」「進め方」をイメージ。中国語の「程序(chéngxù)」に含まれる「序」を単独採用。
* 学習コスト: 新出だが7画で比較的シンプル。

1. konstituci

* 提案漢字: 法
* 選定理由: 本来「宪法(xiànfǎ)」だが、単独1字に落とす場合、広く「法」で包含してしまう方が学習コストを抑えられる。
* 学習コスト: 「leĝ」「jur」と同じく「法」で統一可能。

1. leĝ

* 提案漢字: 法
* 選定理由: 「法律」の意。最も代表的な法関連の漢字として「法」を使用。
* 学習コスト: 既出「法」の再利用。

1. jur

* 提案漢字: 法
* 選定理由: 法学・法制度を指す根なので、同じく「法」で包括。
* 学習コスト: 既出「法」再利用。

1. arbitraci

* 提案漢字: 判
* 選定理由: 「仲裁する」「第三者が裁定する」といったニュアンス。やや「裁」にも近いが、すでに「判」を採用しているため学習コストを優先し、「判」で共通化。
* 学習コスト: 「kondamn」「juĝ」と同一字。

1. juĝ

* 提案漢字: 判
* 選定理由: 「裁判する」「判決を下す」。最も直接イメージしやすい漢字として「判」。
* 学習コスト: 既出「判」の再利用。

verdikt/判决/「判決」を表す一般的な簡体字表現/「判」「决」はいずれも使用頻度が高く学習コストが比較的低い

tribunal/法庭/「裁判所」を意味する標準的な語/「法」は法律関連で再利用しやすく学習コストを抑えられる

instanc/审级/「審級」を表す法用語/「审」「级」は常用字で他の法関連語にも応用可能

rit/礼/宗教的・儀式的な意味を簡潔に表す/画数が少なく「礼儀」「礼節」など派生にも有用

ceremoni/仪式/公式的な式典・セレモニーを示す表現/「仪」「式」は共に常用で学習コストが低め

oficial/官/「公的な(官の)」を端的に示す一字/画数が少なく「官方」「官员」などにも転用可

formal/正式/形式的・公式的を表す最も一般的な語/「正」「式」は基本漢字で習得しやすい

regul/规则/「規則」を意味する標準的な簡体字表現/「规」「则」は法律・制度関連で再利用可能

disciplin/纪律/規律・秩序を示す言い方/「纪」「律」はいずれも頻出し派生語も多い

norm/准则/基準・規範を示す言い方/「准」「则」は既出のものと組み合わせやすい

kriteri/标准/基準・評価基準を表す代表的な語/「标」「准」はやや画数多めだが使用頻度が高い

tip/典型/「典型・タイプ」を表す常用表現/「典」「型」は他の語(例: 典礼, 模型)でも再利用可

ordinar/普通/一般的・普通の意味を表す標準語/使われる頻度が高く学習価値が大きい

normal/正常/正常・常態を示す基本語/「正」「常」は既出で学習効率が高い

ortodoks/正统/正統・本流を表す簡体字/「正」は既出、「统」は後述の「传统」にも再利用

tradici/传统/伝統を意味する代表的表現/「传」「统」はいずれも常用で習得しやすい

mor/风俗/風俗・慣習を意味する簡明な語/「风」「俗」は日常でもよく使われる

kutim/习惯/習慣・慣れを表す常用語/「习」は画数が少なく「惯」も比較的頻出

rutin/常规/慣例・ルーティンを表す言い方/「常」「规」は既出文字同士で学習コストを抑えられる

kiel/如何/「どのように」「どうやって」を示す標準的な表現/「如」「何」はともに基本漢字

kiel##/未対応/語根ではない(#付き)と明記されているため割当せず/特記事項なし

iel/某法/「どうにかして(何らかの方法で)」を暫定的に表現/一般的用法ではないため注意

tiel/如此/「そのように」「あのように」を表す書面語的表現/「如」は既出で「此」も常用

tiel ĉi##/未対応/語根ではない(#付き)のため割当を行わず/特記事項なし

recept/做法/「作り方」「レシピ」を表す際の常用表現/「做」は新出だが「法」は既出で学習コストをやや軽減